

# 目 次

## 1 会議概要

(1) 会議の名称	1
(2) 開催期間	1
(3) テーマ	1
(4) 会場	1
(5) 主催	1
(6) 使用言語	1
(7) プログラム	2

## 2 会議内容

(1) 開会式	4
(2) 分科会 1	8
(3) 分科会 2	42
(4) 全体会議	62
(5) 閉会式	72

## 3 バンコク宣言

74

## 4 参加者名簿

76

## 5 アジア太平洋都市サミット規約

81

## 6 参考資料

実施状況	85
------	----

# 1 会議概要

## (1) 会議の名称

第6回アジア太平洋都市サミット  
The 6th Asian-Pacific City Summit

## (2) 開催期間

2004年11月30日(火)～12月2日(木)

## (3) テーマ

全体テーマ：「持続可能な都市再開発：新しいアプローチ」

分科会 1：「新しい都市性：価値，都市統治，住民参加」

議題1 生活の質

議題2 文化及び伝統の復興

分科会 2：「新しい行政運営：官民協力，すべての人のための機会構築」

議題3 都市の経済発展 すべての人のための機会

議題4 教育開発

議題5 観光の発達

## (4) 会場

ソフィテル・セントラル・プラザ・バンコック  
1695 Phaholyothin Road, Chatuchak, Bangkok

## (5) 主催

バンコク市

## (6) 使用言語

4か国語（中国語，英語，日本語，韓国語）

## (7) プログラム

11月30日(火)

時間	プログラム
9:00-10:00	バンコク知事表敬
10:00-11:00	開会式 コサヨディン・バンコク知事歓迎挨拶 舞台演技
11:00-11:30	展示会開会式
11:15-12:30 11:30 12:00	写真撮影(各都市首長) ホテル発(バス) グランドパレス発
12:00-13:30	昼食(随行者)
12:30-13:30	昼食(各都市首長)
13:30-17:00	第1分科会「新しい都市性：価値，都市統治，住民参加」 議題1 生活の質 オークランド市 福岡市 北九州市 クアラルンプール市 シンガポール ウラジオストク市 議題2 文化及び伝統の復興 釜山市 広州市
18:30-21:30 18:30 20:00 21:30	歓迎レセプション ホテル発 バンコク知事主催夕食会 終了
	ホテル着

12月1日(水)

9:00-12:30	第2分科会「新しい行政運営：官民協力，すべての人のための機会構築」 議題3 都市の経済発展 すべての人のための機会 大連市 ホーチミン市 ジャカルタ特別市 議題4 教育開発 バンコク市 議題5 観光の発達 長崎市 ウルムチ市 ウラジオストク市
12:30-13:30	昼食
13:30-15:30	全体会議 各分科会報告，討議
15:30-15:45	休憩
15:45-16:00	共同宣言採択
16:00-16:30	閉会式 第7回アジア太平洋都市サミット開催都市発表と挨拶 バンコク知事閉会挨拶
16:30-17:00	記者会見
18:30-21:00	送迎レセプション 18:30 ホテル発 19:00 ベンチャシリ公園着 19:15 知事主催夕食会 21:00 ベンチャシリ公園発
21:30	ホテル着

12月2日(木)

行政視察

## 2 会議内容

### (1) 開会式

バンコク市 アピラック・コサヨディン 知事

バンコクへ、そして第6回アジア太平洋都市サミットへ皆様をお招きすることができ、大変嬉しく思っています。個人的にも、2 ヶ月ほど前に知事の役職を引き継いだばかりの私が、バンコク都庁を代表してアジア太平洋の各都市の代表者の皆様にお話できる機会に恵まれましたことを光栄に思います。

今回のバンコクによるサミット主催は、都市間の協力関係のさらなる発展に向け、我々の信頼や協力関係を深めていくことに対するバンコクの強いサポートの証しとなるものです。本サミットは、各都市や地域社会において持続可能な発展に向けた連携関係を構築するための重要な一歩です。我々はまず、この目的に向かって全力で取り組むことを誓わなければなりません。これから始まる2日間の討議に我々が真摯な姿勢でのぞみ、積極的に参加し、建設的な貢献を行うことで、本サミットは必ず実り多いものとなり、また具体的な結論を出せると確信しています。また、2日間という開催期間は我々が望む議論をすべて行うには十分とはいえませんが、この短い時間を有効に用いて友情を深め、今後とも末長く続く協力関係のネットワークを築いていけるものと確信しています。

本サミットの開催にあたり、私たちの都市における持続可能な都市再開発を促進する現実的なアイデアを以前の市長会議や実務者会議から選び、お話することしか私にはできそうにもありません。しかし、経済的成長と都市の発展の調和のとれた関係を追求しつつ、環境保護、伝統と文化の保存、生活の質の向上に関するアイデアが盛り込まれた過去のサミットの内容をあらためて反芻し、詳細に検討することは重要であり、必要なことだと考えます。2年前に福岡で行われた直近のサミットでは、21世紀に向けた街づくりへの”新しいアプローチ”のカギとして”良き統治<sup>1)</sup>”と”住民参加”が強調されていました。こうした蓄積してきたアイデアをここバンコクでも繰り返す、さらに発展させるべきであると考えます。

こうしたアイデアは、悲しいかな都市の発展に付随する一連の問題を効果的に解決するための目的及び手段であると考えられます。すでに何度も繰り返されてきたことですが、大都市はますます多くの人を惹きつけ、その人口流入は、それに伴って社会経済的な問題も引き起こします。言い替えば、皮肉なことに、都市があまりに魅力的であるために、人だけでなく問題までも引き寄せてしまうのです。また世界的に見て、大都市に住む人口と都市問題は、どちらも同じく急激なスピードで増加していることは否定できません。21世紀には都市問題は制御不能なほど深刻になるという否定的な予測もあります。しかし、私たちに弁解している暇は与えられていません。前例のない速度で進行する都市の発展と、それに伴う痛々しい問題によって提起される難問に立ち向かうことは、我々の使命なのです。

---

<sup>1)</sup> good governance

これらの全てのアイデアは、問題に対する有効な解答の手段または目的として考えられてきましたが、残念なことに都市発展に見られる同じパターンから生じるものです。また同時に、世界的な問題、すなわちグローバル化や相互依存のプロセスに、必然的に影響を受ける世界全体の困難に取り組むことも我々共通の課題です。これは、あらゆる社会経済のレベルで、時間や空間の制限を超えて進行する、国や都市、地域社会の間の直接的かつ継続的な相互作用を注視することでなされると考えます。これは、継続的な相互作用の関係にあって、異なる社会経済の単位が、互いに競い合うことばかりに集中し、資源や資金を使い果たすことにより共倒れになることもあれば、あるいは連携を推進することにより相互に公平な利益を得ることもあることを意味します。13 カ国から参加した 26 の都市は、それぞれが、異なる点において、豊かであり貧しく、強くもあり弱くもあります。この多様性こそが、まさに我々の豊かさと強さの計り知れないほど貴重な源なのです。世界のグローバル化が進み、相互依存の関係が深まるにつれ、それぞれの都市は単独で存続できなくなります。我々それぞれが持つ強みは、それぞれの弱点を補うものなのです。

世界全体のコミュニティにグローバル化と相互依存関係が浸透し、かつてないスピードで都市の発展が進んで行く中で、我々の都市の持続的な再開発と市民の充実した生活にとって、将来に渡り持続可能な再開発を実現するべく、先手を打って計画を立て、未来に関する十分な情報を踏まえて選択を行うことが我々の任務であり、共通の急務なのです。それぞれの都市を、さらに市民にとってより魅力的な人間生活空間にしていくことが課題であると言えます。

ただいま申し上げましたような理論的根拠や従来からのサミットの流れに沿って、サミットの現在のテーマは、持続可能な再開発に向けた明確で、実用的、かつ効果的な「新たなアプローチ」に焦点を当てることです。我々は、「新しい都市性（ニューアーバニズム）」と「新しい行政運営（NPM<sup>2</sup>）」という課題について議論するため、今日ここに集まりました。そして、良き統治や住民参加、文化及び伝統の復興に関する我々の思索を発展させるために、また、市民のために経済的な機会、教育、医療保障、インフラの整備、環境の改善をすすめる、都市を地域住民にとってより良い生活空間とするだけでなく、観光客にとってもより魅力的な場所とするべく、官民協力体制の全体的なプランをまとめるためにここにいるのです。すなわち、悪化し、深刻化する都市問題に対応していく強い決意と姿勢を示すため、我々はここにいるのです。

今述べたような理由を前提に、主催者という立場から、サミットの実りある結論に向けて本サミットで我々が話し合うことが期待される内容を、簡単に述べさせていただきたいと思います。知事就任にあたり、私は時間を無駄にせず、また努力を惜しむことなく、バンコクにおける生活の質を向上させることを目的とした政策や計画、施策を実施していこうと決意しました。国際的な大都市であるバンコクの新知事として、バンコク市民の信頼を預かったというだけでなく、21 世紀の重要な首都における都市生活の向上に対して大きな責任を負ったことを感じています。

都市開発や人口規模の点で、バンコクが著しい成長を遂げたことは疑う余地がありません。今日、アジア太平洋地域、そして世界においても、これほどのスピードで成長した都市は他にあまり例があ

---

<sup>2</sup> New Public Management, 「新公共経営」などとも訳される。

りません。私がこの都市に抱いている将来像は、市民にチャンスと繁栄をもたらしてくれる場所となることです。つまり、ビジネスや産業が成長し、民間部門と公共部門が協力関係を築き、個人も家族も地域社会も質の高い生活を送ることのできる場所にしたいと願っています。

さて、こうしたヴィジョンを現実にするためにはどうしたらいいのでしょうか。まず、本サミットのテーマで提案された「新たなアプローチ」とは、大都市が自らを広い地政学的・社会経済的文脈でとらえ、これまでよりも広い地域で役割を果たすという認識を具体化するものだと私は考えています。各都市は自らの比較優位・比較劣位にある点を考察し、都市間の協力は、経験の交流や技術の移転を通じて、互いの長所、短所をより一層補っていかねばなりません。これが「新しい都市性（ニューアーバニズム）」の概念的な前提です。

経済成長を促進する新しい方法とは、その都市の製品やサービスの市場が存在する分野を特定し、外国からの投資を誘引する方法を見つけるための文脈分析を指します。生活の質を向上させるという最終目標を達成するために、社会経済的な問題に対応し、持続可能な人類の発展を促進する効果的、かつ効率的な方法には、市場志向型アプローチや企業の民営化といった新しい手法が含まれるのです。

新しい行政運営の点から見ると、これは官民協力体制にも無関係ではありません。たとえば、産業部門では、既存の公営産業を適正に民営化することにより民間部門の刺激策や効率化を促進させることができます。財政部門では、急速な経済成長の中で、市の財政システム改革が不十分なまま置き去りにされています。というのも、従来の経路だけで市の優先事業の資金調達を行っているためです。つまり、民間部門を通じて資金調達できる事業を見定めることが必要なのです。

我々が定義する「新しい都市性」と「新しい行政運営」では、都市とは建物や街路ではなく人々によって作られるものであるという前提が核心となっています。行政にとって、これは住民の参加を重視し、問題の特定から解決まであらゆるレベルのプロセスにおいて住民の声が浸透するという良き統治の長所を引き出すものです。良き統治の原動力は、透明性と効率性の関係に関連しています。つまり、そのプロセスは参加型であり、社会のあらゆる部分に存在する利害関係者が関わったものであるべきなのです。調査、市民集会（パブリックミーティング）、研究会、フォーカスグループ<sup>3</sup>、タスクフォース（特別な目的の為の対策委員会）、各種委員会など、参加の方法は様々です。

より市場志向型の適切な表現で言うなら、今日の製造業界の中心にいるのは顧客（消費者）です。自由市場機構の顧客と同じことです。市の職員がそれぞれの市特有の可能性や問題を特定できるように、いわゆる民間やビジネスセクターも含めて市民が積極的に参画する必要があります。

そのために、こうして市の代表者がここに集まり、その意見や自らの経験を交換するのです。そのために、多様性がいかに重要かを強調するのです。そのために、補完しあえる長所と可能性を探することを第一の目的としています。

---

<sup>3</sup> 政治問題などに対する一般の反応を予測するために、司会者の下に手段で討議をしてもらう招集者からなる消費者などのグループ

持続可能な開発について私たちが考える際に中心となるものとして、今申し上げたようなそれぞれの地域における生活の独自性に帰着する住民参加の重要性は、その土地固有の資源や知恵と調和した暮らしを発展させるプロセスに地域社会が関わるべきとする「充実した経済 (Sufficiency Economy)」という概念、そしてその背景にあるタイ国王陛下の哲学にも、はっきりと表れています。

すべての人の利益となる地域社会を基本とした発展という概念は、我々の「新しいアプローチ」の核をなすものです。地域社会は、その上ですべての都市生活を育てていく「草の根」のようなものです。すべてのチャンスや可能性を確保し、経済的福祉から社会福祉、保健医療から教育、スポーツから文化、環境から観光まで、あらゆる分野の問題をなくすことは都市にとっての義務なのです。

都市は、継続的に職業や投資の機会を提供する一方で、貧困の減少についても真剣に取り組まなければなりません。また、住宅、医療、教育の質の向上を含め、市民社会において必要な基本的なものを提供することも求められます。都市の環境や観光の質と水準を向上させることも必要です。何よりも都市には、地域社会の素晴らしい伝統や文化を守るという義務があるのです。

「新しいアプローチ」に向けたすべての課題に関して、2つ意見を付け加えさせていただきます。まず、福祉や環境システムの質を均一化・標準化し、あるいは持続可能な観光を推進するために、資金や資源を効率的に集めて管理運営し、市場原理を適用することが考えられるでしょう。

次に、様々な問題が複雑に絡みあっているため、分野横断型のアプローチを考えなければなりません。たとえば、経済成長や産業構造改革の環境への影響は適切にコントロールされる必要があります。また、都市の環境の質は、投資誘引や観光開発、経済の近代化に欠かせない要素であり、そのどれもが生活の質、社会的福祉、地域社会の豊かさに結びついているのです。

本サミットの中心となる概念的、および理論的要素を一部ながら述べましたが、バンコクにおいて何もすることがなく、苦痛なほど退屈であると感じることがあってはなりません。この2日間、我々は各都市に直接関係する問題の討議の中に、詰め込まれなければなりません。どれも我々が細心の注意を持って、全力で取り組まねばならない課題なのです。

最も重要な事項に焦点を合わせ、全力で取り組んでいく所存ですが、主催者として、またバンコクの市民の代表として、堅苦しく融通のきかない対応をするのは私の意図するところではありません。バンコクにとって、皆様をお迎えするのはこの上なく素晴らしい機会であり、過去222年間にわたりタイ王国の首都を守ってきたこのすばらしい「天使の街」を皆様にお見せできないとしたら、非常に残念なことであります。

次のプログラムに進む前に、この機会を借りまして、バンコクに来られた皆様に心より歓迎していることを今一度お伝えしたいと思います。サミットの成功を祈念するとともに、皆様が素晴らしい時間をバンコクで過ごしていただけるよう心より願っております。ありがとうございました。